

第5章 学区単位の取組

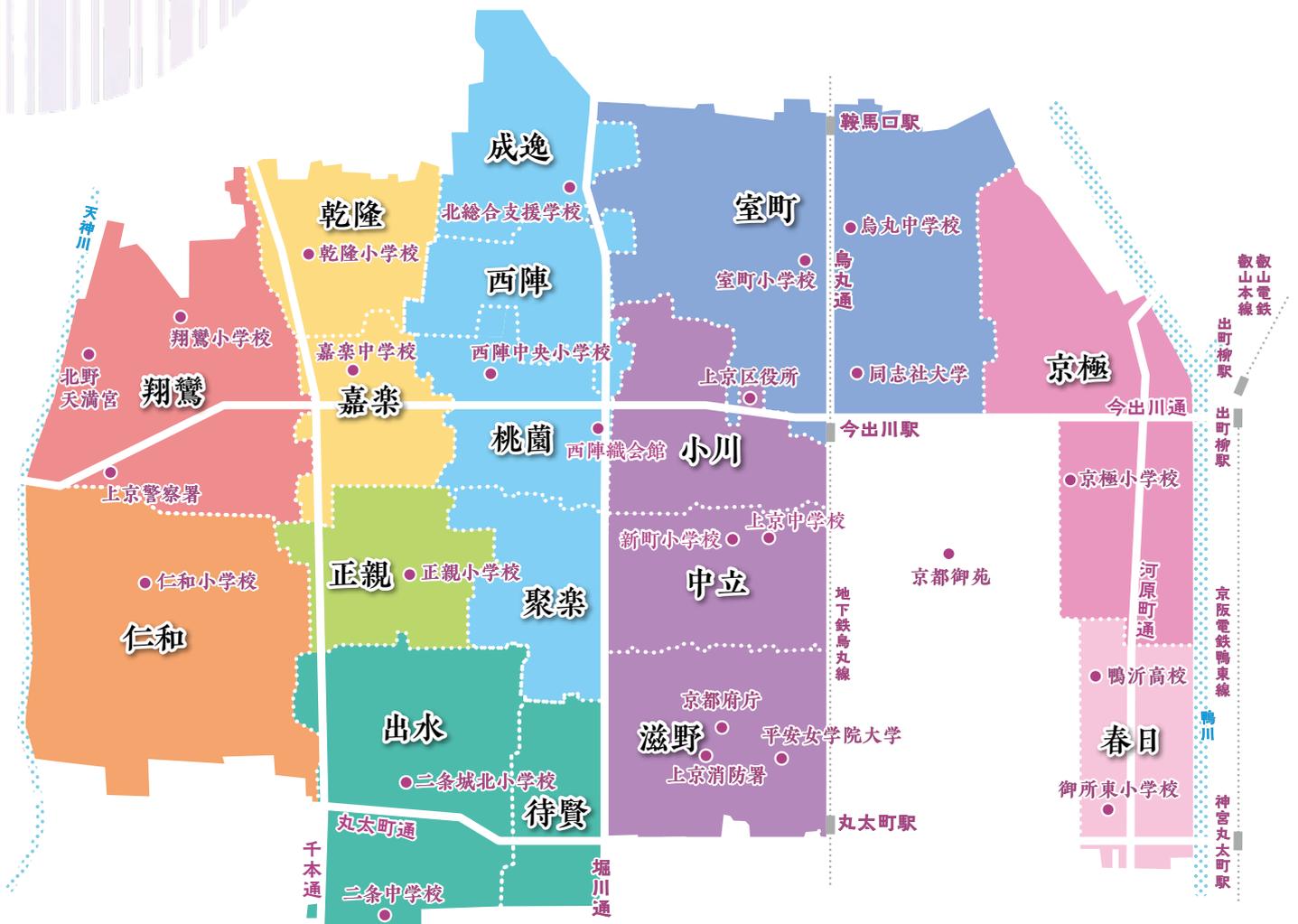
1 学区単位のまちづくり

上京区では、明治2年の「番組小学校」創設時から、学区を単位とした地域コミュニティが維持・発展してきたまちであり、現在も、地域の自治・福祉・防災活動といった区民生活に身近な分野で、17の学区単位でのまちづくりが活発に展開されています。

地域ごとに組織されている学区社会福祉協議会では、地域の福祉課題の解決等に取り組むため「学区重点目標（令和2～6年度）」が策定されています。

この学区重点目標と区基本計画との十分な連携を図り、今後、学区ごとのまちづくりビジョンの策定につなげます。

区内
17学区ごとの
取組を
御紹介します。



※色分けは現在の小学校区です。

2 各学区の重点目標

学区	重点目標
成逸	①「ほっとせいいつ」の活動を充実させ、活性化を図ります。 ②地域の資源を活かし、より実践的な災害の取り組みを進めます。
室町	①広報活動を充実し、多くの方の事業参加のきっかけを作ります。 ②事業を活かして、人とのつながりを広げます。
乾隆	多くの住民が福祉活動に関わり、身近なつながりを広げます。 ①学区活動の周知・広報 ②身近なつながりを育む
西陣	①引き続き各種団体の連携を軸に、若い世代の担い手とともに取り組みを進めます。 ②茶房はとりべのさらなる活性化で、居場所活動の充実をはかります。
翔鸞	地域の福祉活動の魅力・情報を発信し、学区民のつながりづくりをすすめます。
嘉楽	①福祉施設との連携を強化し、防災・安全のまちづくりをすすめます。 ②子どもや子育て世帯への取り組みを充実します。 ③高齢者が安心して暮らすことができるよう、既存の活動の充実を図ります。
桃菌	地域住民・福祉施設・様々な企業や団体がつながり合う、地域を愛し人を大切にする地域コミュニティづくりをすすめます。 ①「地域住民が集まれる場」となる居場所づくり活動に取り組みます。 ②福祉への理解を広げる取り組みをすすめます。
小川	絆で織りなす住み良いまち小川、安心・安全のまち小川を目指します。 ①広報活動を充実し、世代にあった情報発信を行います。 ②次世代が参加しやすい地域行事に取り組みます。
京極	健康・安心・安全・明るい京極学区をつくります。 ①誰もが気軽に集える居場所づくりをすすめます。 ②必要な人に、必要な情報が行き渡るように、周知・広報活動を充実します。
仁和	学区住民が「たのしい」と思えることに取り組み、安心して暮らせるまちづくりをすすめます。 ①居場所づくりの取り組みをすすめます。 ②広報活動の充実をはかります。 ③若い人が地域活動に参加できるように取り組みをすすめます。
正親	誰もが安心して暮らし続けることができる、正親学区づくりをすすめます。 ①防災の取り組みの充実、発展に取り組みます。 ②各種団体との連携を強化し、福祉活動の充実を図ります。
聚楽	①防災の取り組みを通じた、多世代のつながりづくり ②誰でも気軽に参加できる場づくり
中立	①自助、共助、公助に加え「近助」の取り組みを広げ、「みんなが主役」の中立学区を目指します。 ②広報活動の充実や、講座・研修会の開催を進め、和い輪いカフェのさらなる活性化を図ります。
出水	住民福祉連合会を構成する各種団体が協力し、福祉の向上と、健康で明るく住みよいまちづくりを推進します。 ①若い世代も参加しやすいよう、地域福祉活動の重要性の理解促進と話し合える場づくりをすすめます。 ②地域の福祉課題やニーズを把握できる取り組みを検討します。
待賢	誰もが安心して暮らしていくため、地域に暮らす人と人とのつながりづくりを推進します。 ①少子高齢化に備えた取り組みの検討 ②ふれあいカフェの活動の充実 ③防災活動の取り組み強化
滋野	自治連合会(連合会)、民生児童委員協議会(民生)、社会福祉協議会(社協)の連携による、地域づくりに取り組みます。 ①連合会、民生、社協が一体となり地域の福祉課題の把握を行います。 ②各種団体と連携した事業展開を検討します。 ③つながりが実感できる居場所づくり活動に取り組みます。
春日	①学区事業の充実をはかり、学区民がつながる機会を増やします。 ②子どもや若い世代が事業に参加できるような取り組みをすすめます。